

靖国

しんぶん赤旗 2017年8月16日(水)

自民党所属閣僚全員が「靖国」派 改憲推進・侵略戦争美

	選挙区	日本会議	神政連
安倍晋三首相	衆山口4	●	●
麻生太郎副総理・財務相	衆福岡8	●	●
野田聖子総務相	衆岐阜1	●	●
上川陽子法相	衆静岡1	●	●
河野太郎外相	衆神奈川15	●	●
林芳正文部科学相	参山口	●	●
加藤勝信厚生労働相	衆岡山5	●	●
斎藤健農林水産相	衆千葉7	●	●
世耕弘成経済産業相	参和歌山	●	●
石井啓一国土交通相(公明)	衆北関東	●	●
中川雅治環境相	参東京	●	●
小野寺五典防衛相	衆宮城6	●	●
菅義偉官房長官	衆神奈川2	●	●
吉野正芳復興相	衆福島5	●	●
小此木八郎国家公安委員長	衆神奈川3	●	●
江崎鉄磨沖繩・北方担当相	衆愛知10	●	●
松山政司1億総活躍担当相	参福岡	●	●
茂木敏充経済再生担当相	衆栃木5	●	●
梶山弘志地方創生担当相	衆茨城4	●	●
鈴木俊一五輪担当相	衆岩手2	●	●

●=加盟または加盟歴
 ※議連の正式名称は、それぞれ「日本会議国会議員懇談会」「神道政治連盟国会議員懇談会」。公明党所属の石井国交相以外は、全員自民党所属。選挙区は当選選挙区。日本会議議連は過去の加盟歴を含む。神政連は今年7月25日現在の加盟状況。

化 危険な実態浮き彫り

3日に発足した第3次安倍再々改造内閣の安倍晋三首相を含む20人の閣僚のうち、公明党所属の石井啓一国土交通相を除く自民党所属閣僚全員(19人)が、「日本会議国会議員懇談会」(日本会議議連)や「神道政治連盟国会議員懇談会」(神政連)などに加盟歴のある「靖国」派議員であることが、本紙の調査で明らかになりました。

これらの議連はいずれも、靖国神社の戦争博物館「遊就館」の展示が示すように、日本の過去の侵略戦争を「アジア解放」の「正義の戦争」として美化・正当化する「靖国」史観に立ち、首相や天皇の靖国神社参拝を要求するとともに、同神社への集団参拝などを繰り返したりしています。

安倍首相、麻生太郎副総理・財務相、野田聖子総務相、加藤勝信厚生労働相、斎藤健農林水産相、世耕弘成経済産業相、中川雅治環境相、菅義偉官房長官、松山政司1億総活躍担当相、茂木敏充経済再生担当相、梶山弘志地方創生担当相、鈴木俊一五輪担当相の計12人が両議連への加盟歴があります。

2015年10月発足の第3次安倍改造内閣の閣僚のうち、日本会議議連に加盟歴のある閣僚は12人でしたが、今回は14人に増えています。

江崎鉄磨沖繩・北方担当相は両議連には加盟していませんが、「みんなで靖国神社に参拝する国会議員の会」の一員です。

改憲右翼団体「日本会議」の「設立趣意書」は、「東京裁判史観の蔓延(まんえん)は、諸外国への卑屈な謝罪外交を招き」などと、日本の侵略戦争を断罪した極東国際軍事裁判(東京裁判)を批判し、戦後の国際秩序に挑戦する歴史観を公然と唱え、改憲を主張しています。閣僚がこのような団体と一体の議連にのきなみ所属している実態は、歴史逆行の改憲を狙う安倍政権の危険な実態を浮き彫りにしています。

全閣僚が靖国参拝見送り=安倍首相、玉串料を奉納—北朝鮮情勢緊迫化受け

終戦記念日の15日、安倍内閣の閣僚は東京・九段北の靖国神社に参拝しなかった。全閣僚が参拝しないのは第2次安倍政権発足以降では初めて。安倍晋三首相(自民党総裁)は代理人の柴山昌彦党総裁特別補佐を通じて私費で玉串料を奉納、参拝は見送った。北朝鮮の弾道ミサイル発射計画公表による情勢緊迫化を受け、連携を要する中国、韓国に配慮したとみられる。

閣僚の終戦記念日の参拝は、2013～15年が3人、16年は2人と続いてきた。しかし、今年は閣僚在任中を含め終戦記念日に参拝していた野田聖子総務相も参拝しなかった。首相の参拝見送りと玉串料奉納は5年連続。(時事通信 2017/08/15-19:59)

閣僚の靖国参拝ゼロ 第2次安倍内閣以降は初 共同通信 2017/8/15 20:46



終戦から72年を迎え、大勢の参拝者が訪れた靖国神社。閣僚の参拝はなかった=15日午後、東京・九段北

終戦から72年を迎えた15日、第3次安倍第3次改造内閣の閣僚は東京・九段北の靖国神社に参拝しなかった。安倍晋三首相も参拝せず、私費で玉串料を奉納した。2012年末の第2次安倍内閣発足以降、終戦記念日に閣僚本人による参拝がなかったのは初めて。閣僚らの参拝が多い春、秋の例大祭を含めてもゼロは初。

核・ミサイル開発を強行する北朝鮮の脅威が現実化し、阻止へ連携を図る中韓両国への刺激を極力回避したいとの

事情が背景にある。

今年9月は日中国交正常化45周年、来年が日中平和友好条約締結40周年という節目で、中国側に関係改善に向けた一定の配慮を示した形だ。

終戦の日 閣僚の靖国参拝なし 80年以降の自民政権で初

毎日新聞 2017年8月15日 20時17分(最終更新 8月16日 01時59分)



靖国神社の参拝を終えた稲田朋美元防衛相＝東京都千代田区で2017年8月15日午前10時35分、竹内紀臣撮影



終戦の日に合わせた閣僚の靖国参拝の推移

終戦の日の15日に、東京・九段北の靖国神社を参拝した閣僚はいなかった。終戦の日の閣僚集団参拝が始まった1980年の鈴木善幸内閣以降の自民政権で、閣僚の参拝がないのは初めて。今年3日の内閣改造で安倍晋三首相が挙党態勢構築を優先し、首相と信条に近い保守系議員が閣僚から外れ、これまで閣僚としても参拝していた野田聖子総務相が参拝を見送ったためだ。先月に閣僚を辞任したばかりの稲田朋美元防衛相は参拝した。

閣僚参拝ゼロは、旧民主党政権だった2010、11年

の菅直人政権以来。自民政権では、靖国神社の国家護持運動が70年代後半に挫折した後、神社を公的な場に位置付けようと「公人参拝」運動が展開され、80年には鈴木内閣が「閣僚は首相と一緒に参拝する」と申し合わせていた。

第2次安倍内閣以降では終戦の日に複数の閣僚が参拝し、首相も13年12月に参拝。ただ、首相はその後には参拝を控え、今回も見送った。一方で党総裁として5年連続で玉串料を私費で奉納。今回、代理で玉串料を納めた柴山昌彦・党総裁特別補佐は、首相から「参拝に行けず申し訳ないが、しっかりお参りしてほしい」と指示されたと記者団に明かした。

野田氏は「家族の行事」として毎年参拝していたが、15日の記者会見で見送りの理由を「課題山積の中、私の思いを優先させることなく、閣僚として仕事にまい進する」と説明した。江崎鉄磨沖縄・北方担当相は8日の会見で、極東国際軍事裁判(東京裁判)のA級戦犯が祭られていることを参拝しない理由に挙げた。

一方稲田氏は会長を務める議連の議員らと参拝。取材には応じなかった。稲田氏は昨年の終戦記念日は防衛相として海外視察中だったが、昨年末に米ハワイ・真珠湾を首相と訪問した直後に単独で参拝していた。超党派議連「みんなで靖国神社に参拝する国会議員の会」も副大臣を含む63人が集団参拝した。【野口武則、小田中大】

終戦の日の靖国参拝、全閣僚せず 第2次安倍内閣初

日経新聞 2017/8/15 19:10

安倍晋三首相は終戦の日の15日、靖国神社の参拝を見送った。他19閣僚も姿を見せず、2012年の第2次安倍政権発足以降で初めて首相と全閣僚が参拝しなかった。核・ミサイル開発を続ける北朝鮮への対応で中韓両国との連携を優先し、歴史認識を巡る摩擦を避ける狙い。首相と全閣僚が終戦の日の参拝を見送ったのは、11年の民主党の菅直人政権以来6年ぶり。

安倍首相、玉串料を奉納＝超党派議員が靖国参拝



参拝に向かう超党派の「みんなで靖国神社に参拝する国会議員の会」のメンバー＝15日午前、東京・九段北

安倍晋三首相(自民党総裁)は終戦記念日の15日午前、代理人の柴山昌彦党総裁特別補佐を通じて、東京・九段北の靖国神社に私費で玉串料を奉納した。自身の参拝は見送った。一方、超党派の「みんなで靖国神社に参拝する国会

議員の会」(会長・尾辻秀久元参院副議長)のメンバー約60人が同日午前、集団で参拝した。

終戦記念日の首相の参拝見送りと玉串料奉納は第2次政権の発足以降5年連続。靖国参拝に反対する中国、韓国との関係を考慮したとみられる。柴山氏は同神社で記者団に「総裁の指示を受け、先の大戦で尊い犠牲となった先人のみ霊に謹んで哀悼の誠をささげるとともに、恒久平和への思いを新たにしたい」と説明した。



千鳥ヶ淵戦没者墓苑で献花する安倍晋三首相＝15日午前、東京都千代田区

内閣からは佐藤正久外務副大臣らが参拝。自民党の萩生田光一幹事長代行と小泉進次郎筆頭副幹事長、先に国連平和維持活動(PKO)日報問題で辞任した稲田朋美元防衛相も個別に参拝した。(時事通信 2017/08/15-12:30)

首相、靖国神社に玉串料 終戦記念日、5年連続
共同通信 2017/8/15 12:17



集団参拝に向かう「みんなで靖国神社に参拝する国会議員の会」の尾辻秀久会長(前列左から3人目)ら＝15日午前、東京・九段北

安倍晋三首相は終戦記念日の15日、東京・九段北の靖国神社に自民党総裁として私費で玉串料を奉納した。首相は参拝せず、柴山昌彦・総裁特別補佐が神社を訪れ、代わりに納めた。2013年の終戦記念日から5年連続で同様の対応。超党派の議員連盟「みんなで靖国神社に参拝する国会議員の会」(会長・尾辻秀久自民党参院議員)は午前、靖国神社を集団参拝。稲田朋美元防衛相や木原稔財務副大臣ら自民党若手保守派グループ「伝統と創造の会」のメンバーも参った。

北朝鮮による米領グアム周辺への弾道ミサイル発射に備えた中韓両国との連携強化などを見据え、首相は参拝を見送ったとみられる。

衆参63議員が靖国参拝 「国会議員の会」
朝日新聞デジタル 2017年8月15日 11時59分



靖国神社に参拝する「みんなで靖国神社に参拝する国会議員の会」の議員ら＝15日午前11時3分、東京都千代田区、小玉重隆撮影

超党派の「みんなで靖国神社に参拝する国会議員の会」(会長＝尾辻秀久・元厚生労働相)の衆参63人の議員が15日午前、東京・九段北の靖国神社に参拝した。自民党の佐藤正久外務副大臣が参加。同会によると、政党別では自民党が高市早苗前総務相ら55人、民進が3人、日本維新の会2人、日本のこころ1人など。

稲田朋美・元防衛相は自民党議員らでつくる「伝統と創造の会」のメンバーとともに参拝した。

安倍首相、靖国に玉串料奉納 「自民総裁」の肩書で
朝日新聞デジタル 2017年8月15日 09時15分

安倍晋三首相は終戦の日の15日午前、東京・九段北の靖国神社に代理を通じて私費で玉串料を奉納した。代理を務めた柴山昌彦・自民党総裁特別補佐によると、「自民党総裁」の肩書で納めたという。首相から「きょうは参拝に行けずに申し訳ないけれども、しっかりお参りをしてほしい」と託されたという。

首相、靖国参拝を見送り...私費で玉串料奉納
読売新聞 2017年08月15日 10時44分

安倍首相は終戦記念日の15日、東京・九段北の靖国神社への参拝を見送った。

柴山昌彦自民党総裁特別補佐を通じ、私費で玉串料を奉納した。参拝見送りには、参拝に反対する中国や韓国に配慮する狙いがあるとみられる。

柴山氏は「(首相に)今日は参拝に行けず申し訳ないが、しっかりお参りをしてほしいと言われた」と記者団に語った。

首相は2013年12月に靖国神社を参拝した。これ以降、参拝を行っていないが、春季や秋季の例大祭に合わせ、

まさかき
神前に供える真榊を奉納している。

首相 自民党総裁として私費で靖国神社に玉串料
NHK 8月15日 9時56分

「終戦の日」の15日、安倍総理大臣は自民党の柴山総裁特別補佐を通じて、自民党総裁として私費で靖国神社に玉

串料を納めました。

「終戦の日」の15日、安倍総理大臣は靖国神社に参拝せず、自民党の柴山総裁特別補佐を通じて、「自民党総裁・安倍晋三」として、私費で玉串料を納めました。

このあと柴山氏は記者団に対し、「安倍総裁の指示を受けて、先の大戦で尊い犠牲を遂げられた先人のみ霊に謹んで哀悼の誠を捧げ、恒久平和への思いを新たにしました。私費で安倍総裁と私の分の玉串料を納めた。安倍総裁からは『参拝に行けずに申し訳ない。しっかりお参りをしてほしい』と言われた」と述べました。

安倍総理大臣は、第2次安倍内閣が発足して1年後となる4年前の平成25年12月に靖国神社に参拝しましたが、それ以降は参拝しておらず、「終戦の日」には毎年、私費で玉串料を納めています。

柴山氏「安倍総裁から『しっかりお参りを』」

NHK8月15日 10時16分



自民党の柴山総裁特別補佐は記者団に対し「安倍総裁の指示を受けて、先の大戦で尊い犠牲を遂げられた先人のみ霊に謹んで哀悼の誠を捧げ、恒久平和への思いを新たにしました。私費で安倍総裁と私の分の玉串料を納めた。安倍総裁からは『参拝に行けずに申し訳ない。しっかりお参りをしてほしい』と言われた」と述べました。

稲田元防衛相が靖国神社参拝...小泉進次郎氏らも

読売新聞 2017年08月15日 11時41分



靖国神社を後にする稲田元防衛相（15日午前10時35分、東京都千代田区で）＝川崎公太撮影

超党派の国会議員でつくる「みんなで靖国神社に参拝する国会議員の会」（会長＝尾辻秀久・元参院副議長）は15

日午前、東京・九段北の靖国神社を参拝した。

自民党の尾辻氏や日本のこころの中山恭子代表らが参加した。

これとは別に、自民党の稲田朋美・元防衛相、中谷元・元防衛相、小泉進次郎筆頭副幹事長らもそれぞれ参拝した。

超党派の国会議員63人 靖国神社に参拝

NHK8月15日 12時04分

「終戦の日」の15日、超党派の国会議員でつくる「みんなで靖国神社に参拝する国会議員の会」の衆参両院の国会議員63人が、靖国神社に参拝しました。

「みんなで靖国神社に参拝する国会議員の会」は毎年、春と秋の例大祭と8月15日の「終戦の日」に東京・九段の靖国神社に参拝しています。

「終戦の日」の15日は、会長を務める自民党の尾辻元参院副議長や民進党の原口元総務大臣、日本維新の会の東総務会長、日本のこころの中山代表ら超党派の衆参両院の国会議員63人が、午前11時すぎに靖国神社の本殿に昇殿し、そろって参拝しました。

安倍内閣からは佐藤外務副大臣や奥野総務副大臣、水落文部科学副大臣、渡嘉敷環境副大臣らが参拝しました。

このあと、尾辻氏は記者会見し、「安倍総理大臣は参拝したい気持ちは強く持っていると思うが、いろいろ国際的な影響もあり、判断したのだろうと思う」と述べました。

また、これに先立って自民党の稲田元防衛大臣は、みずから会長を務める議員グループ「伝統と創造の会」のメンバーとともに靖国神社に参拝しました。稲田氏は防衛大臣を務めていた去年の「終戦の日」は、海外の自衛隊の部隊を視察するため参拝せず、その後、年末に参拝していました。

終戦の日、閣僚の靖国参拝ゼロ 「お友達」閣外、影響か朝日新聞デジタル久永隆一 2017年8月16日05時04分

終戦の日の15日、安倍内閣の現職閣僚は靖国神社に1人も参拝しなかった。閣僚の「参拝ゼロ」は、第1次政権も含めて初めて。今月3日の内閣改造に合わせ、安倍晋三首相と距離の近い「お友達」と言われた閣僚が閣外に去ったことが影響したようだ。

首相自身もこの日参拝せず、側近の柴山昌彦・自民党総裁特別補佐が代理として玉串料を奉納した。柴山氏によると、「自民党総裁」の肩書で、玉串料は私費だという。

安倍政権は第1次政権の2007年から過去5回、閣僚による終戦の日の靖国参拝が続いてきた。「筆頭格」は、第1次政権で男女共同参画担当相、第2次政権で14年から総務相を務めた高市早苗氏だ。閣内にいた07、15、16年の3回とも、この日に参拝した。

12年末から14年9月まで行政改革担当相を務めた稲田朋美氏も、終戦の日に参拝してきた「常連」だ。13、

14両年に参拝。防衛相に抜擢（ぼってき）された昨年8月はアフリカ東部・ジブチの自衛隊視察を理由に見送ったが、同年末、首相の米ハワイ・真珠湾訪問に同行した直後に参拝し、強いこだわりをうかがわせた。

だが、そんな内閣の状況は今年…

産経新聞 2017.8.16 00:14 更新

【終戦の日】靖国参拝した閣僚はゼロ 安倍晋三内閣で初背景に支持率下落や中韓への配慮か



72回目の「終戦の日」を迎えた靖国神社

に参拝に訪れた小泉進次郎衆院議員＝15日午前、東京都千代田区・靖国神社（納富康撮影）

72回目の「終戦の日」となった15日、東京・九段北の靖国神社を参拝した閣僚はいなかった。終戦の日に閣僚の参拝がゼロだったのは、旧民主党の菅直人内閣当時の平成23年以来、6年ぶり。安倍晋三内閣では第1次の19年と第2次の25年以降を通じて初めて。

背景には、学校法人「加計学園」の獣医学部新設問題による内閣支持率の下落で、政権が勢いをそがれていることがある。また、核・ミサイル開発を強行する北朝鮮への圧力強化に向け、緊密な連携が求められる中韓両国に配慮したことがあるとみられる。

この日は安倍首相も参拝を見送り、柴山昌彦・自民党総裁特別補佐を通じ、党総裁として私費で玉串料を納めた。首相は柴山氏に「参拝に行けず申し訳ないが、しっかりお参りしてほしい」と託したという。

安倍内閣では毎年1～3人の閣僚が終戦の日に参拝。昨年は高市早苗総務相と丸川珠代五輪相（いずれも肩書は当時）が訪れた。

産経新聞 2017.8.15 12:01 更新

【終戦の日】野田聖子総務相「私の思いを優先させない」靖国参拝見送り表明 家族と相談し決定



閣議を終え、会見する野田聖子総務相＝

15日午前、首相官邸（斎藤良雄撮影）

野田聖子総務相は15日午前の閣議後の記者会見で、終戦の日の靖国神社参拝を行わないことを正式に表明した。

野田氏は理由について「国内外さまざまな大変な問題が山積するなか、私の思いを優先させることなく、閣僚として与えられた仕事を邁進（まいしん）するように、参拝はしないということを決めた」と語った。

野田氏は「自民政権が支持率を落としている。政権に若干不安定が生じているなか、（閣僚の）一員として声をかけてもらったことを自覚しなければならない」と述べた。その上で「北朝鮮を取り巻く大変、緊張した日々を送っている。それも踏まえて、専念するということだ」と強調した。

野田氏によると、参拝見送りは家族と相談して決めたという。

野田氏は例年、靖国神社を終戦の日に参拝しており、郵政相だった平成10年と11年、消費者行政担当相だった20年と21年にも参拝していた。

玉串料奉納に「深い憂慮」＝韓国



靖国神社参拝に向かう超党派の「みんなで靖国神社に参拝する国会議員の会」のメンバー＝15日午前、東京・九段北

【ソウル時事】韓国外務省報道官は15日、安倍晋三首相が靖国神社に玉串料を奉納したことを受け、「日本の植民侵奪と侵略戦争の歴史を美化する靖国神社に再び（玉串料を）奉納し、参拝を繰り返したことに深い憂慮を禁じ得ない」と批判する論評を出した。

安倍首相、玉串料を奉納＝超党派議員が靖国参拝

安倍首相は終戦記念日の15日、靖国神社への参拝を見送った一方、私費で玉串料を奉納。論評は「日本の政治家は歴史を正しく直視し、反省を誠意ある行動で示すことで、周辺国と国際社会の信頼を得られるようにしなければならない」と指摘した。（時事通信 2017/08/15-16:14）

韓国外務省 首相の玉串料奉納など非難

NHK8月15日 15時26分

「終戦の日」の15日、安倍総理大臣が自民党総裁として靖国神社に私費で玉串料を納め、衆参両院の国会議員が参拝したことについて、韓国の外務省は報道官の論評を出し、「日本の政府と国会の責任ある指導者が、収奪と侵略戦争

の歴史を美化する靖国神社に再び玉串料を納め、参拝を繰り返していることに深い憂慮を禁じえない」と非難しました。

そのうえで、「過去の歴史に対する反省を行動で示すことで、周辺国と国際社会の信頼を得るべきだ」と主張しています。一方、ことしの論評は去年に続いて、「責任ある指導者」という表現にとどめ、安倍総理大臣を名指しすることは避けています。

玉串料奉納に「断固反対」＝中国

【北京時事】中国外務省の華春瑩・副報道局長は15日の記者会見で、安倍晋三首相が靖国神社に玉串料を奉納したことについて「靖国神社は侵略戦争のA級戦犯を祭っている。われわれは日本の間違ったやり方に断固として反対する」と述べた。

華氏は、今年が日中による全面戦争の発端となった盧溝橋事件と旧日本軍による南京事件から80年に当たると指摘し「日本側に侵略の歴史を深く反省し、実際の行動でアジアの隣国と国際社会の信頼を得るよう促す」と語った。

(時事通信 2017/08/15-18:50)

終戦の日、中国の日本批判は抑制気味 関係安定の思惑か 朝日新聞デジタル北京＝西村大輔 2017年8月16日01時04分

中国外務省の華春瑩副報道局長は15日の定例会見で、安倍首相が靖国神社に玉串料を納めたことについて、「我々は日本側の誤ったやり方に断固反対する」と批判し、「侵略の歴史を深く反省し、実際の行動でアジアの隣国と国際社会の信用を得るよう日本側に促す」と主張した。

中国では、NHKが13日に放送した、第2次大戦中に中国人捕虜らに人体実験していた「731部隊」の実態を伝える番組が注目されている。華氏は同番組を念頭に「日本軍は大罪を犯した。日本は正確に過去の歴史を認めて初めて歴史の重荷を下ろすことができる」と指摘。その一方で、「真相を明らかにした日本の有識者の勇気を称賛する」と評価した。

中国メディアも、72回目の終戦の日を迎えた日本を手厚く取り上げている。国営新華社通信は15日、国外向けの英語版で「安倍首相は日本の戦争責任に対する『反省』にまたもや言及しなかった」と批判する一方で、天皇陛下が「深い反省」との表現を3年連続で述べたことを好意的に紹介した。安倍首相が靖国神社に参拝しなかったことについては、朝鮮半島情勢が緊迫する中、中国や韓国との外交関係への悪影響を避けようとしたと伝えた。

15日付の主要各紙は、日本の侵略の歴史などを批判する記事は目立たず、対日批判のトーンは抑制気味だった。習近平（シーチンピン）国家主席と安倍首相が首脳会談を重ね、日中関係が改善基調にあることが影響しているとみ

られるほか、今秋に習指導部2期目の体制を固める共産党大会の開催を控え、対日関係を安定させたい中国側の思惑もうかがえる。(北京＝西村大輔)

中国 靖国への関係参拝なしは「留意」

毎日新聞 2017年8月15日 20時37分(最終更新 8月15日 20時37分)

【北京・浦松丈二】中国外務省の華春瑩（か・しゅんえい）副報道局長は15日の定例記者会見で、安倍晋三首相や他の閣僚が靖国神社に参拝しなかったことについて「参拝しなかったことには留意しているが、安倍首相は靖国神社に供物（玉串料）を奉納した。靖国神社にはA級戦犯がまつられており、日本側の誤ったやり方には断固として反対する」と述べた。

また「今年は盧溝橋事件、南京大虐殺から80年であり、日本が侵略の歴史を適切に直視し、深く反省し、軍国主義と徹底的に一線を画し、実際の行動でアジアの隣国と国際社会の信頼を得るよう促す」と語った。

中国外務省「断固反対」...首相が靖国に玉串料

読売新聞 2017年08月15日 19時14分

フアチュンイン

【北京＝東慶一郎】中国外務省の華春瑩副報道局長は15日の定例記者会見で、安倍首相が靖国神社に私費で玉串料を奉納したことについて、「靖国神社は侵略戦争に対して直接責任があるA級戦犯を祭っており、我々は日本側の誤ったやり方に断固反対する」と述べた。

その上で、今年が盧溝橋事件と南京事件から80年の節目にあたることに触れ、日本政府に「侵略の歴史を正視し、深く反省するよう求める」とくぎを刺した。

中国外務省 首相の玉串料奉納に「断固として反対」

NHK 8月15日 18時02分

「終戦の日」に、安倍総理大臣が自民党総裁として、私費で、靖国神社に玉串料を納めたことについて、中国外務省の華春瑩報道官は15日の記者会見で、「靖国神社は、侵略戦争への直接の責任を負う第2次世界大戦のA級戦犯をまつっている。われわれは日本側の誤ったやり方に断固として反対する」と批判しました。

そのうえで「ことしは、日本が戦争に負けてから72年になるとともに『盧溝橋事件』や『南京大虐殺』が起きてから80年にあたる年だ。中国側は、日本に侵略の歴史を直視して深く反省し、軍国主義と明確に一線を画して実際の行動をもってアジアの隣国や国際社会の信用を得るよう促す」と述べました。

産経新聞 2017.8.15 20:10 更新

【終戦の日】反天連デモに抗議の声200人 「帰れ！」

「つぶせ！」靖国神社近くで飛び交う罵声



PR 「天皇制反対」などと書かれた赤いバナーを掲げてセブンイレブン前に陣取った右派系団体の人々の前を通り過ぎる反天連のデモ隊＝15日、東京都千代田区（三枝玄太郎撮影）

72回目の「終戦の日」を迎えた15日、政府主催の全国戦没者追悼式が開かれた東京都千代田区の日本武道館からほど近い九段下の交差点に、右派系団体のメンバーら約200人が集結した。毎年8月15日に靖国神社近くで「天皇制いらない」などとシュプレヒコールを上げてデモ行進する反天皇制運動連絡会（反天連）のメンバーに抗議する、いわゆる「カウンター」と呼ばれる人たち。英霊を慰める終戦の日、靖国神社近くではシュプレヒコールや怒号が飛び交った。

午後5時ごろ、九段下交差点を通りかかった反天連のデモ隊約80人は口々に「天皇制反対」「安倍はやめろ」とシュプレヒコールを繰り返しながら前進。これをかき消すように交差点そばの歩道に陣取った「行動する保守運動」のメンバーら約200人が「帰れ」「反天連つぶせ」「国賊」などと怒号を上げて抗議した。

警視庁は一時、交通を遮断し、歩行者をくぎ付けにする方法でデモ隊を通過させた。デモ行進の際、所々で「行動する保守運動」以外の右翼団体の関係者らが怒号を浴びせる中、大きな混乱もなくデモ隊はデモを終えた。

日本第一党の桜井誠党首（45）は「数の問題ではないが、今回の反天連のデモ隊は前年より減って70～80人ほどだった。私たち抗議運動は当初、数十人で始めたが、今はこれだけの人が抗議の声を上げるようになった」などと演説すると、沿道から「桜井」コールが起こった。（WEB編集チーム）

台湾 日本神社、こま犬盗まれる 反日感情動機か

毎日新聞 2017年8月15日 20時33分(最終更新 8月15日 20時33分)

【台北・福岡静哉】台北市は15日、日本統治時代に建設された「円山水神社」が、柱に「日本は犬畜生だ」などと白いペンキで書かれたりこま犬の石像1体がなくなったりするなどの被害に遭ったと発表した。日本に反感を抱く何者かが、終戦記念日に合わせて犯行に及んだ可能性があり、地元警察が器物損壊などの容疑で捜査している。

同市文化局によると14日夕、住民から警察に通報があった。2体あるこま犬の残り1体も台座から落とされてい

た。現場には日本による植民地支配への批判を書いた紙が残されていた。台北市では今年5月にも日本統治時代のこま犬の石像が壊される事件が起きている。

一方、日本の対台湾窓口機関「日本台湾交流協会」前では15日、反日団体のメンバーら約120人が集まり、台湾の元慰安婦への謝罪などを求めた。